

新しい風



新しい風の代表
質問はこちら
から

藤澤 恭子

市長のビジョンは何か

Q 市長の掲げる「対話とチャレンジ」の達成すべきビジョンを今一度伺う。

A 「対話」については、今後、若者や子育て世代の皆様とも対話できる機会を設けていきたいと考えています。「チャレンジ」については、すべての方が自分らしく安心して、公平にチャレンジできるまちの実現を目指しています。今後も、本音の対話を重視し、時代や社会の変化を的確に捉えながら、柔軟思考でチャレンジしていきます。

すべての子どもの健全な育成を

Q みどり教室の拡充や子どもたちの第3の居場所づくりなど、誰一人取り残されない環境づくりの対策を伺う。

A みどり教室については、今後、ニーズの高まりにより現状での対応が困難になった場合は、拡充を検討していきます。また、令和4年4月からひきこもり対策協議会の意見から生まれた居場所「Myラボ」を開設しています。今後、関係機関との連携を図り、一人ひとりに寄り添い誰一人取り残さない伴走的支援を行っていきます。

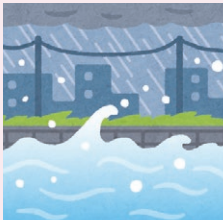
異常気象などで頻発する災害への取り組みは

Q 想定が難しい災害への対策の考え方を伺う。

A 想定が難しい災害への対策の考え方を伺う。

Q 市民の命と財産を守る対策を進め風水害に備える

A 地震災害においては、県の第4次地震被害想定により減災対策を進めていますが、近年の風水害は想定が難しい災害となつていきます。被害を最小限に抑えるため、引き続き、市民の命と財産を守るハードとソフトの両面の対策を進め、風水害に備えていきます。



日本共産党議員団



日本共産党議員
団の代表質問は
こちらから

勝川 志保子

学童保育は全市的計画を早急に立て需要に見合う措置を

Q 児童数の3、4割が入所を希望する時代。保育ニーズに見合う新增設や指導員の処遇改善などの計画を早急に立て、国基準を守った整備が急務ではないか。

A 児童数の3、4割が入所を希望する時代。保育ニーズに見合う新增設や指導員の処遇改善などの計画を早急に立て、国基準を守った整備が急務ではないか。

市民が期待する補聴器購入助成制度は対象を広く

Q 補聴器購入助成制度の導入にあたり、所得制限を設けず対象を広げることが認知症予防の観点からも重要ではないか。

Q 専門医などに相談しながら制度を検討している

A 難聴の早期改善を図ることは、認知症予防の効果が期待できることから、対象となるより多くの方が利用できる制度となるよう、現在、専門医などに相談しながら、検討してまいります。

市民負担が大きい草刈りや落ち葉処理の在り方見直しを

Q 街路樹、公園、川の法面などは、業者への委託管理などを広げて、市民負担の軽減が図れないか。

A 街路樹、公園、川の法面などは、業者への委託管理などを広げて、市民負担の軽減が図れないか。

Q 高木樹木の剪定と自走式草刈機の導入により負担軽減する

A 高木樹木の剪定により、落ち葉の処理量を減らし、収集作業の負担軽減につなげていきたいと考えています。また、草刈りについては、自走式草刈機の導入などにより、負担軽減の方策を進めていきます。

【その他の質問事項】

- 市民の命と健康を守るための
- コロナ感染対策について